

登録有形文化財「旧波門崎燈籠堂」 修復整備の概要について

国の登録有形文化財である「旧波門崎燈籠堂(明石港旧灯台)」は、昭和28年(1953年)に木製からコンクリート製へと改修されました。

明石市としましては、旧波門崎燈籠堂を貴重な明石港の歴史遺産として保存活用していくにあたり、経年劣化の進む灯籠部(火袋・笠・宝珠など)を改修し、あわせて周辺も整備を行い、永く人々に親しまれるシンボルとなるように修復整備を行うものです。

1 修復の概要について

(1) 灯籠部の木製復元

劣化の進んだ灯籠部(火袋・笠・宝珠)について詳細な資料がないため、「明石名所写真帖」に残る写真を参考にして全体的なシルエットを再現するイメージ復元とします。

外観のイメージを再現するものであり、修復整備で使用する部材等は管理面やコスト面を含め検討していきます。

また、復元した燈籠堂の周辺に照明設備を設置しライトアップします。

(2) 石積みの美装

石積みの隙間をモルタル補修及び洗浄し美装します。

(3) 周辺整備

- ・ 燈籠堂周辺の進入防止柵の設置
- ・ 説明板や石碑の設置
- ・ 明石駅周辺の観光案内板の更新 など



灯籠部の復元3Dイメージ

2. 修復整備のスケジュールについて

①旧波門崎燈籠堂の本体及び石積みの美装

令和3年(2021年)1月ごろ 工事発注予定

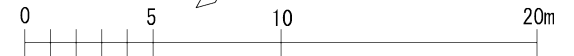
同年 8月ごろ 完成予定

②周辺整備

工事発注時期は未定ですが、完成予定は令和3年度中を予定しています。

【担当】 明石市都市局道路安全室
海岸・治水課
川井、春海

旧波門崎燈籠堂整備計画図 (案)



ちきり工法説明板



木柵または石柵



旧波門崎燈籠堂



ライトアップ照明



木調説明板



石碑



板石舗装

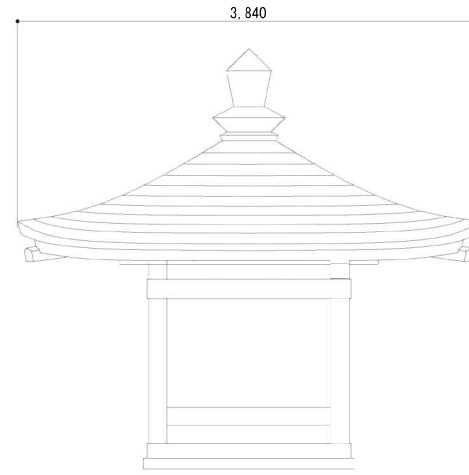
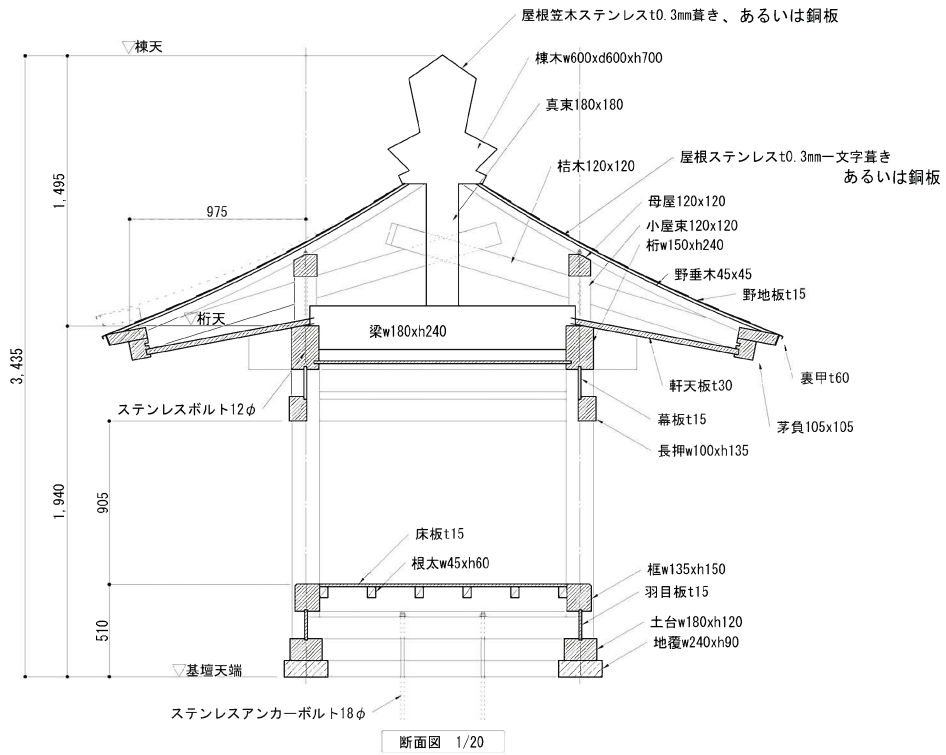


木調ベンチ

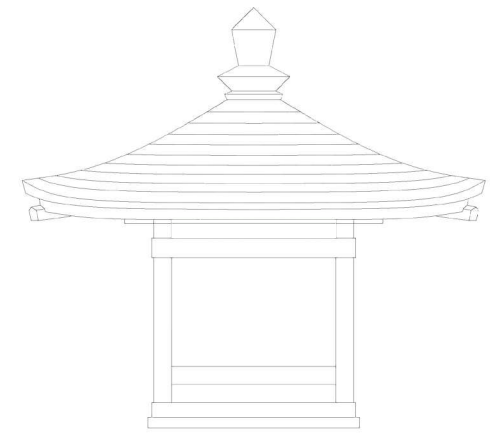
転落防止柵

自然石舗装

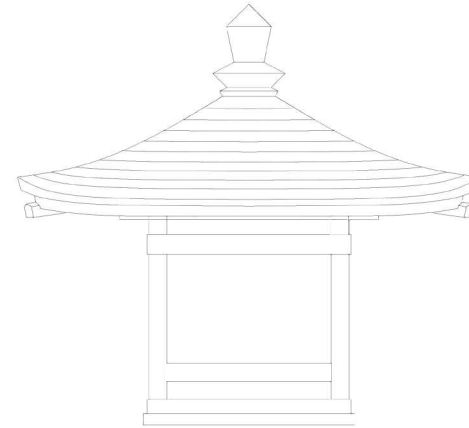
石



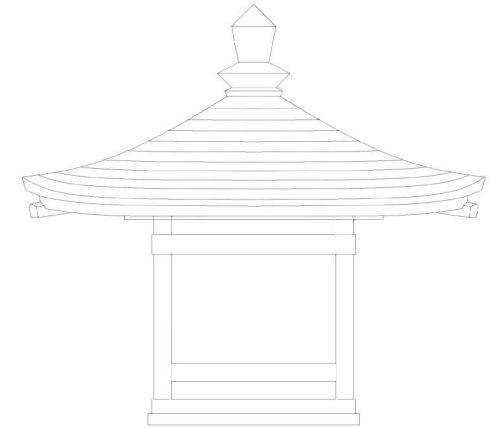
北面図



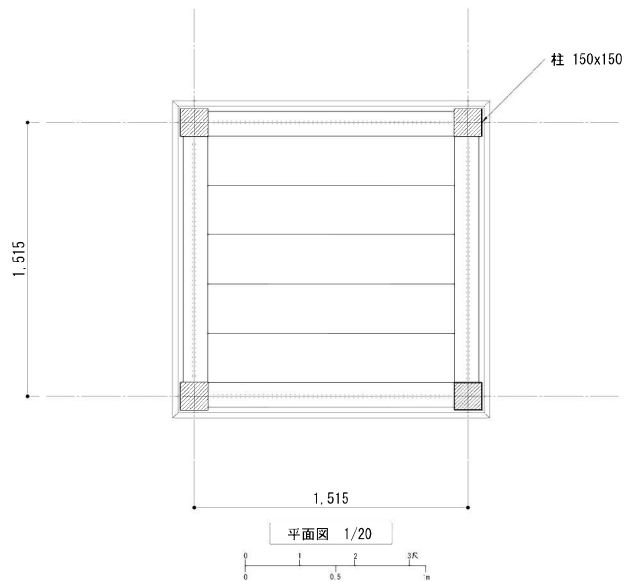
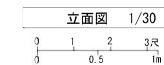
西面図



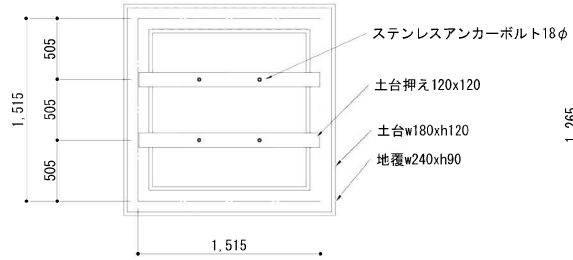
南面図



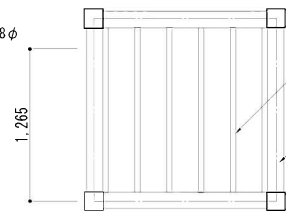
東面図



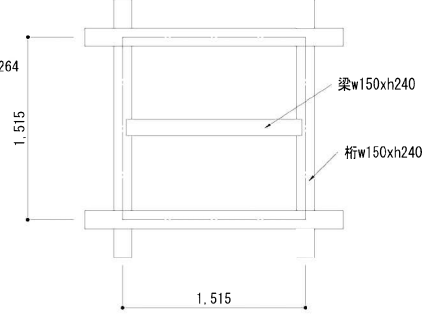
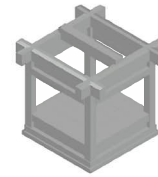
※使用木材は、桧とする。(一部、杉あり)



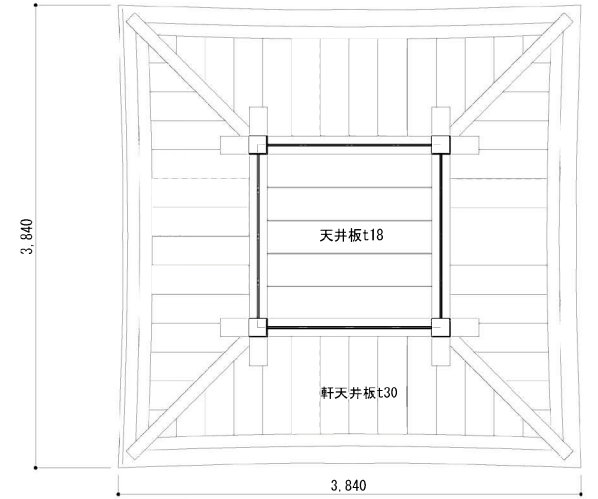
土台伏図 1:30
0 1 2 3尺
0 0.5 1m



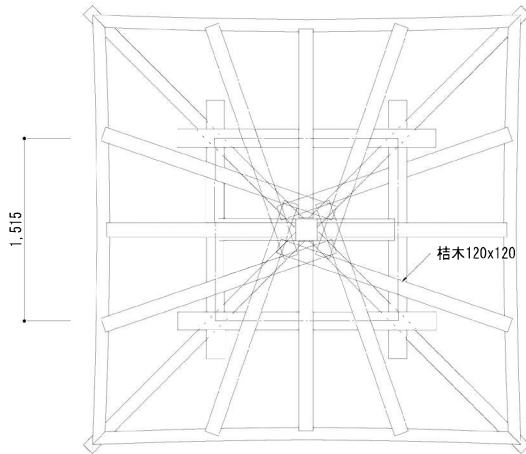
床伏図 1:30
0 1 2 3尺
0 0.5 1m



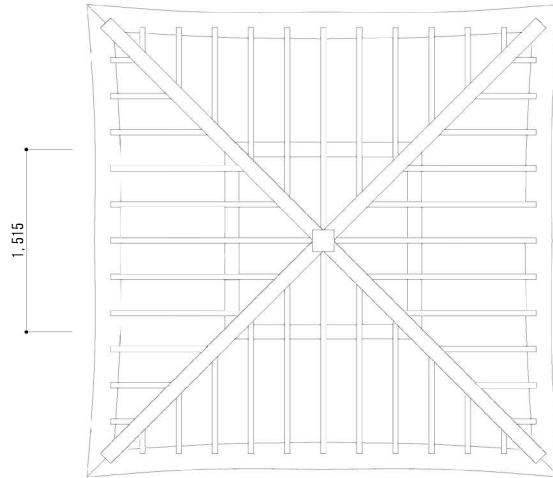
梁伏図 1:30
0 1 2 3尺
0 0.5 1m



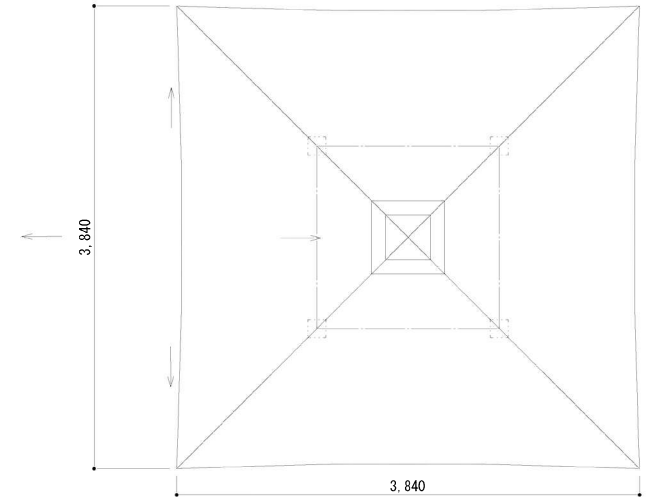
天井伏図 1:30
0 1 2 3尺
0 0.5 1m



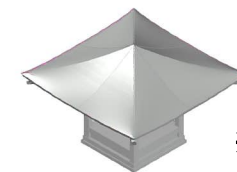
桔木伏図 1:30
0 1 2 3尺
0 0.5 1m



小屋伏図 1:30
0 1 2 3尺
0 0.5 1m



屋根伏図 1/30
0 1 2 3尺
0 0.5 1m



※使用木材は、桧とする。(一部、杉あり)